

平成25年度下半期 財政状況

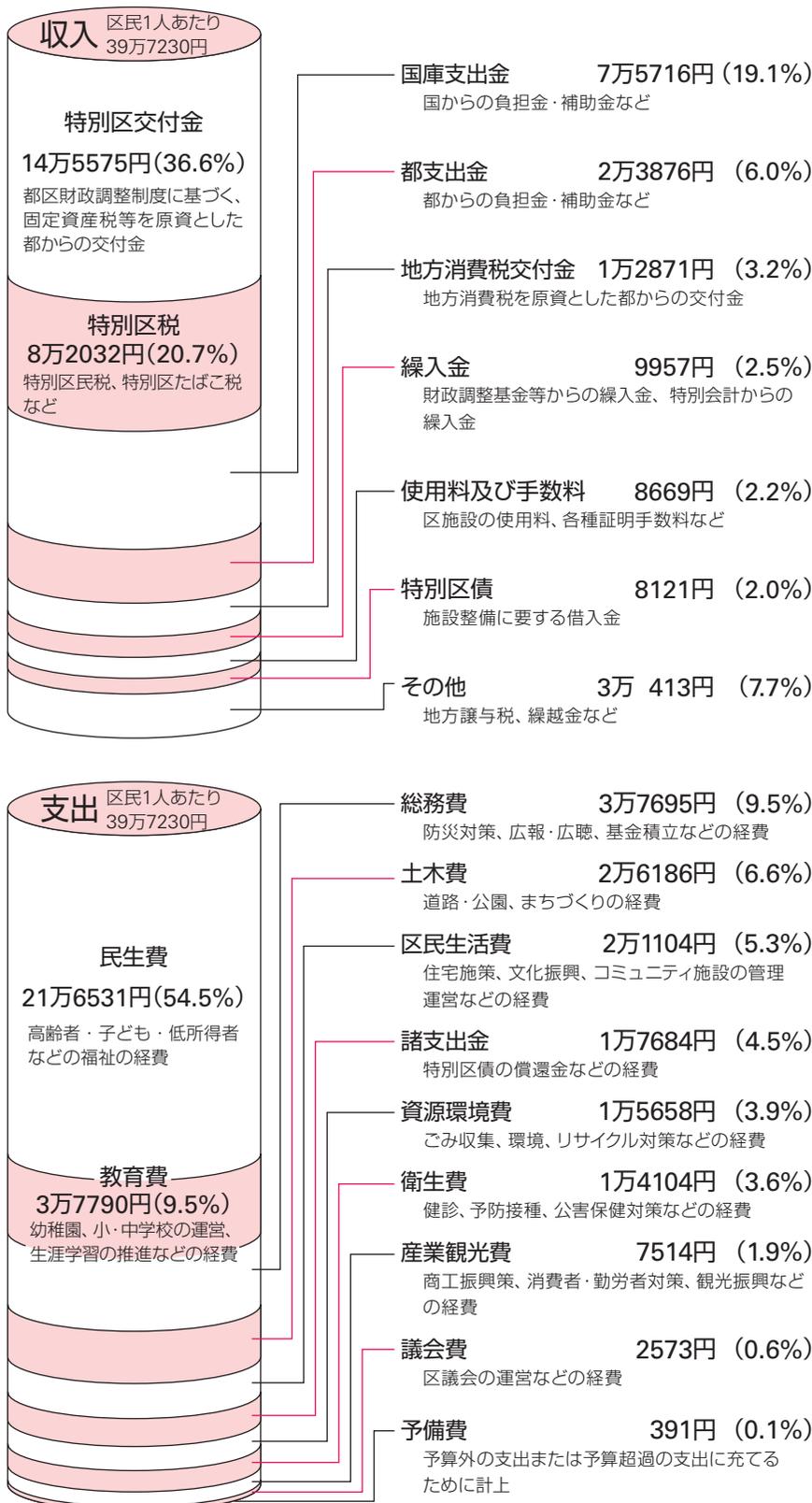
基本計画のリーディングプロジェクトを推進

平成25年度下半期は、景気が緩やかに回復するとともに、人口の都心回帰動向や東京スカイツリー®効果とも相まって、区の人口も、前年度に比べ着実に増加しました。このことから、特別区民税をはじめとする歳入の一部が前年度に比べ増加したものの、区の厳しい財政状況を改善

するまでには至りませんでした。こうした中で、「東日本大震災を教訓に、安全で安心して暮らせるまちづくり」をはじめとする3つのリーディングプロジェクトの実現に向けた施策に、積極的に取り組みました。また、心身障害者自立支援給付事業費の追加や東京都知事選挙の執行費などを補正予算で対応したうえで、予算に計上した事務事業を計画的・効率的に執行することができました。

25年度 区民1人あたりの予算額(一般会計)

1人あたり 39万7230円
 一般会計予算額 1016億9038万円 26年4月1日現在の人口 25万5999人



①収入・支出ともに()内の数字は、一般会計予算額に占める比率です。
 ②一般会計予算額のうち、人件費は194億8827万円(区民1人あたり7万6126円)です。

予算の状況

【一般会計】 25年10月1日以降、下表の補正を行った結果、最終予算額は1016億9038万円となりました。

【特別会計】 当初予算に必要な補正を行うことにより、最終予算額は、国民健康保険特別会計が302億4699万円、介護保険特別会計が179億6767万円、後期高齢者医療特別会計が48億4322万円となりました。

25年度一般会計の主な補正予算

11月・1月補正…13億7666万円の追加	3月補正…7億9670万円の減額
▶ 財政調整基金積立金追加	▶ 財政調整基金積立金追加
▶ 中国残留邦人等支援事業費追加	▶ 減債基金積立金追加
▶ 自立高齢者等に対する介護関連事業費(住宅改修助成)追加	▶ 公共施設整備基金積立金追加
▶ 心身障害者自立支援給付事業費追加	▶ (仮称)北斎基金積立金
▶ 心身障害者自立支援医療給付事業費追加	▶ (仮称)水と緑のまちづくり基金積立金
▶ 地域生活支援事業費(移動支援事業)追加	▶ 北斎美術館資料取得費追加
▶ 私立母子生活支援施設保護委託費追加	▶ 臨時福祉給付金給付事業費
▶ 細街路拡幅整備事業費追加	▶ 子育て世帯臨時特例給付金給付事業費
▶ 過年度国庫支出金等返還金追加	▶ 職員退職手当追加
▶ 東京都知事選挙執行費等	▶ 各種事務事業の不用経費の減額等

収入・支出の概況

26年3月31日現在の25年度各会計の予算現額と収支の状況は、下表のとおりです。一般会計の予算現額に対する執行率は、歳入が92.1%、歳出が86.8%となっています。

なお、事務処理手続等の関係で3月末日までに執行できなかったものについては、出納整理期間中(4月1日～5月31日)に執行しました。

25年度予算の収支の状況(26年3月31日現在)

区分	予算現額	収入額	支出額
一般会計	1036億4473万円	954億1657万円(92.1%)	899億9219万円(86.8%)
国民健康保険特別会計	302億4699万円	258億2986万円(85.4%)	262億9168万円(86.9%)
介護保険特別会計	179億6767万円	170億4937万円(94.9%)	157億7010万円(87.8%)
後期高齢者医療特別会計	48億4322万円	47億7838万円(98.7%)	43億9384万円(90.7%)

①予算現額とは、最終予算額に24年度からの繰越分を加えたものです。24年度からの繰越額は、一般会計で19億5435万円ありました。
 ②収入額・支出額欄の()内の数字は、それぞれの予算現額に対する割合です。
 ③各会計の収入・支出ともに出納整理期間中(4月1日～5月31日)に執行・整理を行い、いずれも予算計上額をほぼ達成しています。

区民負担の概況

区の施策を実施するために必要な財源として、区民の皆さんに税や各種使用料、手数料を負担していただいています。このうち、特別区税の予算現額と収入額は、下表のとおりです。

25年度特別区税の予算現額と収入額(26年3月31日現在)

内訳	予算現額	収入額	収入率
特別区民税	183億9100万円	163億3960万円	88.8%
軽自動車税	7400万円	7747万円	104.7%
特別区たばこ税	25億2300万円	24億5465万円	97.3%
入湯税	1200万円	1412万円	117.7%
合計	210億円	188億8584万円	89.9%

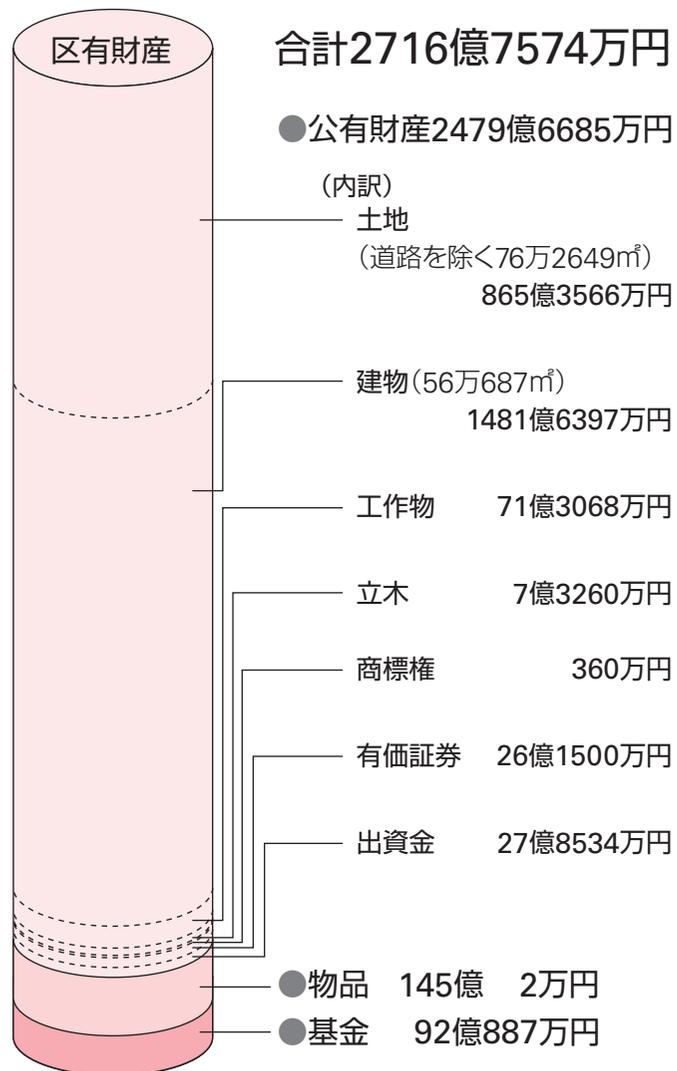
④上記の収入額に加え、出納整理期間中(4月1日～5月31日)にも収入がありました。

の公表

区では、区民の皆さんが納めた税金等がどのように役立てられているのかをお知らせするために、区の予算と収入・支出の状況を年2回公表しています。今回は、平成25年度下半期の財政状況をお知らせします。
[問合せ] 財政担当 ☎5608 - 6232

区有財産の現在高

26年3月31日現在の区有財産の現在高は、下のグラフのとおりです。



一時借入金

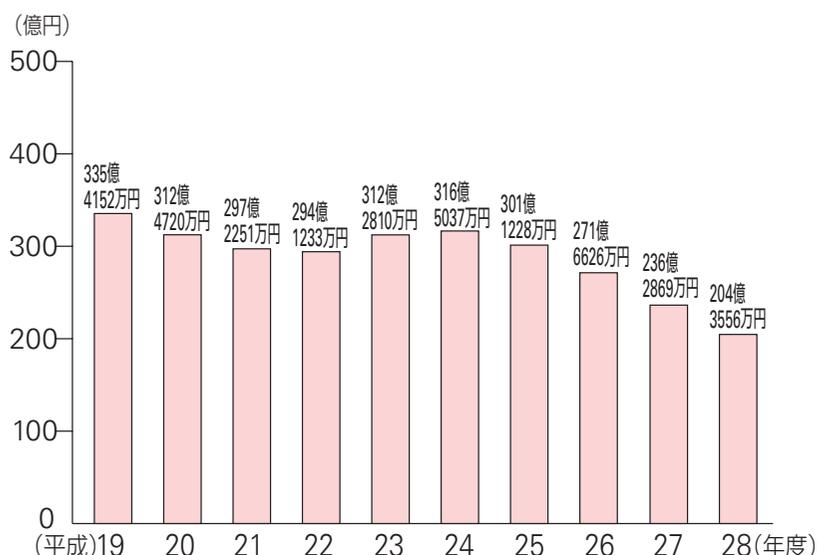
一時借入金とは、収入と支出の時期の違いにより、事務事業を執行するうえで一時的に資金が不足する場合に、年度内償還を条件として市中銀行などから借り入れる資金のことです。

25年度は、この借入れを行う必要がありませんでした。

公債の発行残高

学校施設の整備やまちづくり事業などの公共施設の整備には、多額の経費がかかります。このため区は、公債（特別区債）を発行し、その財源を確保するとともに、公債の償還を通じて現在から将来にわたる区民の皆さんの世代間の負担の公平化を図っています。

各年度末における公債の残高は、下のグラフのとおりです。



①23年度・24年度の残高が上昇しているのは、学校施設建設事業や地域プラザ整備事業、市街地再開発等のまちづくり事業などに特別区債を活用したためです。
②26年度以降の残高は、特別区債を新たに発行しない場合の数値です。

区政の課題解決に果敢に取り組む予算

平成26年度予算は、25年度に引き続き、3つのリーディングプロジェクトをはじめとした基本計画事業の実現をめざして、防災対策、子育て支援や高齢者見守り対策、国際観光都市づくりなど、区政の課題解決に果敢に取り組む内容となっています。

我が国の経済は、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要の反動による

景気の下振れなどの懸念がありますが、経済対策の推進等により、堅調な内需に支えられての景気回復が見込まれています。

このような中、区の財政状況は、改善の兆しが見られるものの、依然として厳しさが続くと思われまます。このため、引き続き行財政改革を実施しつつ、防災対策などの課題解決に取り組んでいきますので、区政へのご理解とご協力をお願いします。

